

令和8年6月8日

千代田区長 樋口 高顕 様

日本テレビ放送網株式会社
代表取締役社長執行役員
福田 博之

「日本テレビ二番町計画における基本計画の検討について」へのご回答

令和7年12月17日付の千代田区長からの要望書「日本テレビ二番町計画における基本計画の検討について」を拝受しました。皆様から寄せられたこれらのご意見やご懸念に真摯に向き合い、住環境へ配慮するとともに、地域コミュニティの活性化に貢献できるように基本計画をまとめました。

日本テレビは長年拠点を置いてきた番町の歴史と環境に、深い愛着と感謝の念を抱いています。その思いを込めて、「BE NEIGHBORHOOD」を開発コンセプトとしました。

詳細につきましては別紙のとおりご回答申し上げます。

以上

日本テレビ二番町計画の基本計画策定に向けた要望事項への回答

別紙

区からの要望内容	日本テレビの方針回答
計画建物については、高さや容積率を可能な限り抑えるとともに、屋外空間も含め風等環境影響への配慮や周辺の景観と調和するようなデザインを検討してください。	・建物高さを可能な限り抑えるために、建物形状を工夫し、2層下げる計画としています。 ・建物高さの低減、通り沿いの植栽計画に加え、日テレ通り側における基壇状の低層部を高層部より張り出す建物形状とすることにより、歩行者レベルの風環境を改善する計画とします。 ・低層部は長大壁面とならないよう周辺環境を踏まえたボリュームに分節し、広場と繋がる複数のアプローチを設置し、広場と共にまちの景観に呼応するデザインとします。
建物の機能導入にあたっては、周辺環境との調和に配慮するとともに、建物低層部については、地域コミュニティの活性化につながる機能や地域住民の生活利便性を向上させる機能の導入を検討してください。	・地域コミュニティ活性化につながる機能を有するエリアマネジメント拠点施設を計画します。 ・地域のニーズを踏まえたテナントを誘導し、スーパーや飲食店舗など、地域住民の利便性を向上させる機能を導入します。
広場や通路においては、自然環境に配慮した緑豊かな空間の確保をお願いします。	・交流広場(広場2-1号)・緑地広場(広場2-2号)や日テレ通り側歩道状空地は、自然環境に配慮し在来種を踏まえた樹種を取り入れ、四季を感じる緑豊かな空間を確保します。
日本テレビ通りの違法駐輪やごみ投棄が悪化しないよう、駐輪場計画や環境美化計画および自転車を放置しにくい空間デザイン・配置等の配慮を検討してください。	・駐輪場は道路からアクセスしやすい1階に集約配置するとともに、警備・監視カメラ等にて自転車を放置しにくい運用を検討します。 ・ごみ置き場は不特定多数が立ち入らず周辺から認識しづらい地下階に集約配置し、環境美化計画に配慮した計画とします。 ・警備員が巡回警備を行い、違法駐輪、ごみ投棄が悪化しない運用を行います。
駅前プラザ(広場1号)については、バリアフリー化を図るとともに、駅利用者のピーク(通勤・通学時間)の混雑緩和対策なども含め始発から終電まで麴町駅を利用する誰もが安全かつ快適に利用できる形態をお願いします。また、地域交通広場(広場3号)との一体的な利用により、円滑な乗り換え空間の確保をお願いします。あわせて周辺道路の歩行者の安全性・快適性のため、車両の交通負荷に配慮を検討してください。	・麴町駅から駅前プラザまでをバリアフリー化するために、エレベーターおよびエスカレーターを設置する計画とすると共に階段も設置し、複数動線を確保することにより混雑を緩和し安全に利用できる動線計画とします。 ・地域交通広場から駅前プラザへの動線は分かりやすいサインや設えにより円滑な乗り換え空間とします。 ・周辺道路の歩行者の安全性・快適性に資する駐車場と必要な滞留スペースを確保し、周辺道路に対する交通負荷に配慮した計画とします。
交流広場(広場2-1号)・緑地広場(広場2-2号)については、多数の方が利用することに伴う住環境の悪化等に対する地域の不安に配慮しつつ、地域から要望のあった子どもの遊び場や災害時の活用などを想定した空間設計をお願いします。	・交流広場(広場2-1号)・緑地広場(広場2-2号)など多数の方の利用が想定される部分については、植栽配置・外構計画の設えを工夫すると共に、ごみや騒音等の管理を行い、住環境に配慮した計画とします。 ・各広場に対し、子どもの遊び場を設けると共に災害時の活用などを想定した設えとします。
エリアマネジメント拠点施設の計画にあたっては、交流広場(広場2-1号)等と一体的に活用できる運用を考慮した配置計画や、災害時の地域の利用に配慮した施設内容(防災倉庫等)を検討してください。	・エリアマネジメント拠点施設は、一体的に活用可能な交流広場(広場2-1号)に面した配置計画とします。 ・災害時に地域の皆様が活用可能な防災備蓄倉庫を、エリアマネジメント拠点施設内に設置します。
交流広場(広場2-1号)・緑地広場(広場2-2号)及びエリアマネジメント拠点施設については、周辺環境との調和を図りながらコミュニティの活性化やまちの魅力向上を目的に、地域が主体となったエリアマネジメント組織による運用を地域とともに検討してください。	交流広場(広場2-1号)・緑地広場(広場2-2号)及びエリアマネジメント拠点施設については、周辺環境と調和した地域価値向上を目指し、地域が主体となったエリアマネジメント組織が活用できる空間・設えを提供します。
計画が具体化される段階で、以下について、地域の方々の懸念を払拭するよう丁寧な説明をお願いします。なお、竣工後に設計時点では想定されなかった環境への影響が生じた場合には、適切な対策を講じてください。 ・上記要望に対する検討結果や対応内容 ・交通、日当たり、風環境等の環境影響評価 ・事業スケジュール ・災害時の帰宅困難者対策と広場等の地域防災の考え方	・検討結果や対応内容については本紙を参照ください。 ・交通については、車両・歩行者の混雑が発生しないように管理者である警察と協議を行い、協議結果を計画に反映します。 ・日当たりについては、建物高さを減じることにより改善する計画としています。 ・風環境については、建物高さの低減や敷地内の植栽計画により改善する計画としています。また、竣工後は風環境に寄与する植栽を適切に管理致します。 ・事業スケジュールは2027年9月中旬の新築工事着手を予定しており、新築建物及び麴町駅接続口の完成後の開業時期は2031年3月中旬を予定しております。なお、現状の番町の森及び時間貸し駐車場部分については地下に旧建物の構築物が存在していることから、2026年8月中旬より当該構築物の解体工事に先行的に着手する予定です。 ・帰宅困難者対策として1階から3階までのホールを一時滞在施設と位置付け、防災備蓄倉庫、WCなどを提供します。また、交流広場(広場2-1号)は地域のための防災拠点として、近隣住民の方々に開放します。